

FileMaker

Windows Server 2003 ターミナル
サービスでの FileMaker Pro 7 の実行



© 2001-2004 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.
FileMaker, Inc.
5201 Patrick Henry Drive
Santa Clara, California 95054

FileMaker 及びファイルメーカーは、FileMaker, Inc. の登録商標です。ScriptMaker 及びファイルフォルダロゴは FileMaker, Inc. の商標です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

また、製品及びサンプルファイル等に登場する会社名、氏名、住所などのデータは全て架空のもので、実在する企業、人物とは一切関係ありません。

スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」

ドキュメントに記載されます。

詳細情報については www.filemaker.co.jp をご覧ください。

第 01 版

目次

第 1 章

Windows Server 2003 ターミナルサービスの紹介

Windows Server 2003 ターミナルサービスについて	5
ターミナルサービスサーバー	5
ターミナルサービスクライアント（リモートデスクトップ接続）	5
RDP（Remote Desktop Protocol）	5
Windows Server 2003 ターミナルサービスを使用する利点	5
システム必要条件	5
ターミナルサービスサーバー必要条件	5
ターミナルサービスクライアント必要条件	6
Windows Server 2003 ターミナルサービスクライアントソフトウェア（リモートデスクトップ接続）のインストール	6

第 2 章

Windows Server 2003 ターミナルサービスを利用した FileMaker Pro 7 の使用

ターミナルサービスサーバーへの FileMaker Pro 7 のインストール	7
使用に関する注意事項	7
FileMaker Pro 7 ファイルを使用するための環境	8
非共有ファイル	8
FileMaker Server への接続	8
FileMaker Pro 7 の機能と制限事項	8
TechInfo データベースの記事	8

付録 A

ライセンスの必要条件

FileMaker ライセンス条件	9
ボリュームライセンスアグリーメント（VLA）	9
サイトライセンスアグリーメント（SLA）	9
Windows Server 2003 ライセンスの必要条件	9
ターミナルサービスライセンスの必要条件	9

第 1 章

Windows Server 2003 ターミナルサービスの紹介

Windows Server 2003 ターミナルサービスについて

ターミナルサービスは、あらゆるタイプのネットワーク接続で、多数のコンピュータから Windows Server 2003 サーバー上にインストールされているアプリケーションにリモートアクセスすることを可能にする Windows Server 2003 コンポーネントです。

ターミナルサービスには、サーバーとクライアントの通信手段として 3 つのコンポーネント（サーバー、クライアント、およびプロトコル）があります。

ターミナルサービスサーバー

ターミナルサービスをアプリケーションサーバーモードで使用する場合、すべてのアプリケーションはサーバー上で実行されます。ターミナルサービスサーバーは画面情報のみをクライアントに送信し、クライアントのマウスおよびキーボードの入力情報のみを転送します。

ターミナルサービスクライアント（リモートデスクトップ接続）

ターミナルサービスクライアント（リモートデスクトップ接続）は、シンクライアントテクノロジーを使用して Windows デスクトップ環境をユーザに提供します。クライアントは、サーバーとの接続を確立するだけで、仮想装置として動作します。

RDP（Remote Desktop Protocol）

ターミナルサービスをインストールすると、RDP（Remote Desktop Protocol）が自動的にインストールされます。RDP は、クライアントをターミナルサービスサーバーに接続するために設定する必要がある唯一の接続です。ネットワークアダプタにつき 1 つの RDP 接続を設定できます。

Windows Server 2003 ターミナルサービスを使用する利点

- 組織では、ハードウェアサポート対象外の旧システム上でも、Windows ベースのアプリケーションを展開することができます。
- ユーザは、現在使用している既存のオペレーティングシステムおよびアプリケーションを使い続けることができます。
- 組織では、Windows ベースのアプリケーションを、さまざまなデスクトップ環境に LAN や WAN を通じて配信することができます。
- システム管理者は、ネットワーク上のすべてのデスクトップコンピュータにアプリケーションを個別にインストールする必要がなく、アプリケーションをサーバーマシンにインストールおよびアップデートするだけです。
- 低速のネットワーク接続でも、ネットワーク接続されたアプリケーションを効率的に実行できます。

システム必要条件

Windows Server 2003 ターミナルサービスに必要なハードウェアは、同時接続するクライアント数とクライアントの使用条件によって異なります。

ターミナルサービスサーバー必要条件

- Pentium 133 MHz 以上のプロセッサ（550 MHz 以上を推奨）
- 128 MB 以上の RAM（256 MB 以上を推奨）
- 1 GB 以上のハードディスクの空き容量（2 GB 以上を推奨）
- クライアント接続につき 10 MB から 20 MB の追加 RAM

ターミナルサービスクライアント必要条件

- Windows XP を実行している Intel Pentium プロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ

このバージョンでは、次の Win32 クライアントが FileMaker によってサポートされています。他のクライアントについては現在サポートされていません。

- Internet Explorer 6.0 で動作する Terminal Services Advanced Client (TSAC)

Windows Server 2003 ターミナルサービスでは、ユーザ間で実行可能なリソースを共有します。そのため、同じアプリケーションを実行する追加ユーザのメモリの必要条件は、最初のユーザがアプリケーションをロードするときの必要条件よりも少なくなります。

最適なパフォーマンスのために次の項目を考慮します。

- EISA、MCA、または PCI などの高性能バスアーキテクチャ。ISA (AT) バスでは、通常のターミナルサービスインストールによって生成されるトラフィックをサポートするための十分なデータの移動が行えません。
- SCSI ディスクドライブ (Fast SCSI または SCSI-2 互換を推奨)。最適なディスクアクセスを得るには、RAID SCSI ディスクシステムを使用します。
- 高性能ネットワークアダプタ。サーバーコンピュータにネットワークアダプタを2つ設置し、1つを RDP トラフィック専用に指定します。

Windows Server 2003 ターミナルサービスクライアントソフトウェア (リモートデスクトップ接続) のインストール

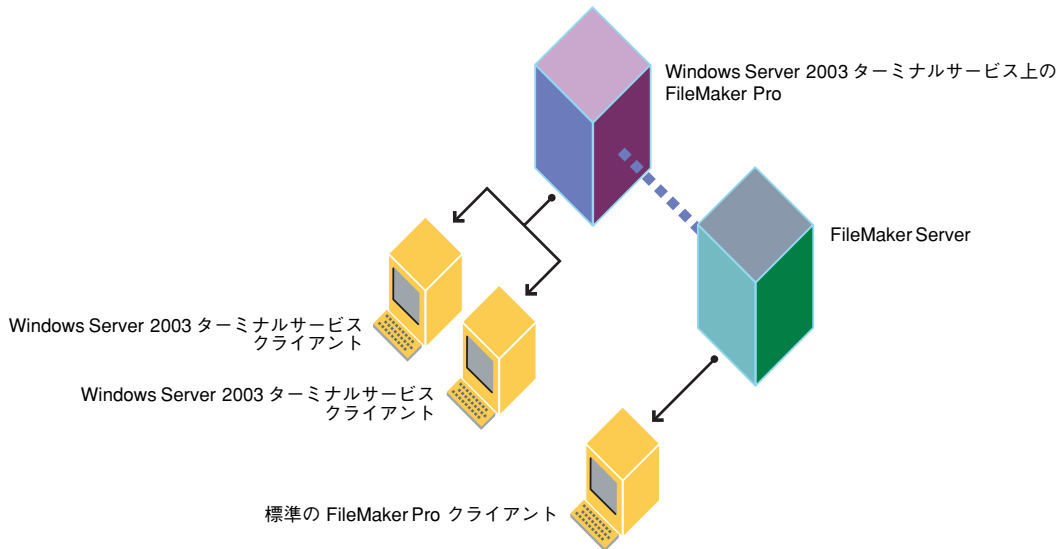
ターミナルサービスを使用する必要があるすべてのコンピュータに、Windows Server 2003 ターミナルサービスクライアントソフトウェア (リモートデスクトップ接続) をインストールします。Windows Server 2003 または Windows XP を使用している場合、リモートデスクトップ接続はデフォルトでインストールされています。リモートデスクトップ Web 接続を使用することもできます。

リモートデスクトップ接続ソフトウェアのアップグレードについては、次の URL を参照してください。

- www.microsoft.com/japan/technet/prodtechnol/windowsserver2003/proddocs/standard/rdesktopS_setup_getclient.asp

第 2 章

Windows Server 2003 ターミナルサービスを 利用した FileMaker Pro 7 の使用



ターミナルサービスサーバーへの FileMaker Pro 7 のインストール

注意 インストールには、FileMaker Pro 7 ソフトウェアと、ボリュームライセンスまたはサイトライセンスが必要です。

Windows Server 2003 ターミナルサービスサーバーに FileMaker Pro をインストールするには、次の操作を行います。

1. ターミナルサービスが Windows Server 2003 コンピュータにすでにインストールされ、正しく設定されていることを確認し、管理者としてログオンしていることを確認します。

2. [コントロールパネル] の、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。

注意 FileMaker Pro ボリュームライセンスまたはサイトライセンス CD-ROM の [Setup] アイコンには直接アクセスしません。

3. [プログラムの追加] をクリックします。

4. [CD またはフロッピー] をクリックして CD-ROM を挿入し、[次へ] をクリックします。[FileMaker Pro 7 セットアップ] 画面が表示されます。

5. ソフトウェアライセンスの画面が表示されたら、ソフトウェアライセンスを読みます。[ライセンスの条項に同意します] をクリックしてソフトウェアライセンスに同意します。

6. 画面上の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。

インストールの詳細については『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。

7. [アプリケーションの追加と削除] プログラムがインストールを終了したら、[完了] をクリックします。

使用に関する注意事項

- ターミナルサービスを実行するには、128 MB 以上の RAM (256 MB 以上を推奨) が必要です。FileMaker Pro を実行する各ターミナルサービスクライアント接続につき 10 MB から 20 MB の追加 RAM が必要です。
- メモリを必要とする FileMaker Pro ソリューションを使用する場合、または FileMaker Pro 以外にも複数のアプリケーションを使用する場合は、クライアントごとにより多くの RAM が必要です。
- Pentium III や Pentium 4 などの、高速な Pentium プロセッサを使用します。

FileMaker では、Windows Server 2003 ターミナルサービスクライアントで実行する FileMaker Pro ソリューションの使用および開発をサポートしています。ターミナルサービスクライアントを FileMaker Pro ソリューションの開発環境として使用する場合、開発に関するいくつかの面で期待通りに機能しないこともあります。テクニカルサポートについては、www.filemaker.co.jp/support を参照してください。

FileMaker Pro 7 ファイルを使用するための環境

非共有ファイル

ターミナルサービスクライアントは、ネットワークで共有されていない FileMaker Pro ファイルにアクセスできます。非共有の FileMaker Pro ファイルのように、ターミナルサービスクライアントで、非共有ファイルを開発および使用することができます。共有ファイルおよびピアトゥピア環境（FileMaker ネットワーク共有）でのデータベースの共有は、ターミナルサービスクライアントではサポートされません。

注意 特定のファイルの共有を解除するには、[編集] メニューの [共有設定] サブメニューから [FileMaker ネットワーク ...] (Windows) を選択するか、または [FileMaker Pro] メニューの [共有設定] サブメニューから [FileMaker ネットワーク ...] (Mac OS) を選択します。続いて、ファイルを選択して、[ユーザなし] を選択します。

FileMaker Server への接続

FileMaker Server 7 を使用してターミナルサービスサーバーでファイルを共有できます。FileMaker Pro を配置したターミナルサービスサーバーは、FileMaker Server にアクセスしてローカルの FileMaker Pro クライアントと同様に、ターミナルサービスクライアントでも FileMaker Server でホストされている FileMaker Pro ファイルを共有できるようにします。ターミナルサービスサーバーで実行している FileMaker Pro をユーザが開くと、標準のネットワーク環境で FileMaker Server へアクセスするのと同様の方法で、FileMaker Server によってホストされている FileMaker Pro ファイルへアクセスすることができます。詳細については、『ユーザズガイド』の第4章「共有ファイルの開き方」を参照してください。

注意 FileMaker Server は、Windows Server 2003 ターミナルサービスと同じコンピュータにインストールしないでください。

FileMaker Pro 7 の機能と制限事項

次の FileMaker Pro 7 の機能は、ターミナルサービスクライアントでサポートされません。

- FileMaker ネットワーク共有
- インスタント Web 公開
- ODBC/JDBC 共有
- サードパーティのプラグイン。プラグインの開発者は開発したプラグインがターミナルサービス上で動作可能かどうかを確認する必要があります。

TechInfo データベースの記事

Windows Server 2003 ターミナルサービスでの FileMaker Pro 7 の実行に関する記事については、TechInfo データベースを参照してください。TechInfo データベースには、www.filemaker.co.jp/support からアクセスすることができます。

付録 A

ライセンスの必要条件

FileMaker ライセンス条件

Windows Server 2003 ターミナルサービスを利用して FileMaker Pro を使用するには、ボリュームライセンスアグリーメント (VLA) またはサイトライセンスアグリーメント (SLA) が必要です。FileMaker Pro 通常製品は、ターミナルサービスと共に使用することはできません。

ボリュームライセンスアグリーメント (VLA)

VLA は、10 ライセンス以上の導入ニーズに柔軟に対応する、一括購入用ボリューム割引プログラムです。VLA では、ご購入いただいたソフトウェアのライセンス数だけソフトウェアをインストールして使用することができます。

FileMaker のソフトウェア・ライセンスプログラムのご案内および価格表 PDF のダウンロードは次の URL をご覧ください。

- www.filemaker.co.jp/license/index.html

サイトライセンスアグリーメント (SLA)

SLA では、企業（事業所）にて従業員数またはコンピュータの保有台数が 50 以上の場合、非常にお求めやすい価格にて、「FileMaker Pro」、「FileMaker Server」、「FileMaker Developer」、「FileMaker Mobile」のすべてを、その企業（事業所）におけるすべてのコンピュータにインストールし、全従業員がご使用いただくことができます。

FileMaker のソフトウェア・ライセンスプログラムのご案内および価格表 PDF のダウンロードは次の URL をご覧ください。

- www.filemaker.co.jp/license/index.html

Windows Server 2003 ライセンスの必要条件

ターミナルサービス使用の有無に関係なく、ファイル、プリンタ、および他のネットワークのサービスを受けるためにクライアントがサーバーにアクセスする場合、実行しているオペレーティングシステムにかかわらず、各クライアントコンピュータが Windows Server 2003 にアクセスするには、Windows Server 2003 CAL (Client Access License) が必要です。詳細については、次の URL を参照してください。

- www.microsoft.com/japan/windowsserver2003/howtobuy/licensing/default.msp

ターミナルサービスライセンスの必要条件

Windows Server 2003 マシンから WBT (Windows-Based Terminal) およびアプリケーションを実行するには、サーバー上で実行するアプリケーションとの対話に使用するプロトコルまたはソフトウェアにかかわらず、Windows Server 2003 CAL の他に、Windows Server 2003 ターミナルサービス CAL が必要です。詳細については、次の URL を参照してください。

- www.microsoft.com/japan/windowsserver2003/howtobuy/licensing/ts2003.msp

